

# ○「優良農地をどう守るか」

(京都府与謝野町岩滝地区連絡会議)(第1回)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

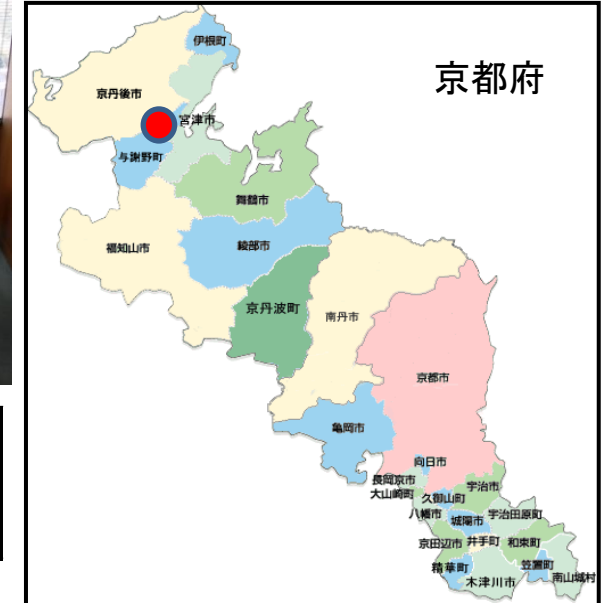
遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年11月27日 10:00~11:30
- 場 所: 与謝野町役場岩滝庁舎
- 出席者: 農業委員2人、最適化推進委員2人  
農業委員会事務局1名
- 報告者: 泉 良 悟 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 与謝野町の北に位置し、平地農業地域で、一部中山間を含んでいる。
- 町内で畑地以外の水田は圃場の区画も概ね整備され水稲+一般野菜を中心とした地域である。
- 地形的にコンパクトにまとまった区域である反面、担い手対策が今後の課題である。

## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 低い位置にある農地について災害からどう守るか。
- 若い農業者で60歳後半であり、若い農業者が出てこないため、掘り起こしが必要である。
- 中山間地域の取り組みの意識の醸成を進める必要がある。
- 市町村合併して10年、旧町の垣根を取り払う必要がある。
- 農地を組織として守る仕組みが必要である。
- 農地中間管理事業の取り組みが必要ではないか。

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援